

2023 年度 各授業学習目標・授業目標 科目名：2 年探究 B・ピーススタディ

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
【知識・技能】	
<ul style="list-style-type: none"> ・「平和」の定義について、状況に合わせて可変的に語るができる ・「平和」に関わる社会的課題について、自分の言葉で語るができる ・「平和」に関わるフィールドスタディを通じて、課題に取り組む現場の人たちや一次資料から生の情報を収集することができる 	
【思考力・判断力・表現力】	
<ul style="list-style-type: none"> ・「平和」に関わる社会的課題について調べ、その解決方法を提案することができる ・「平和」に関わる様々な価値観や見方を比較検討することができる ・「平和」に関わる社会的課題について調べ、そこから得た知識や考察した自分の意見を他者に伝えることができる 	
【学びに向かう力・人間性】	
<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の平和実現のために自分が必要な知識や力を身につける意欲を高めることができる ・自分が関わる社会がより平和なものになるように、自分に何が出来るかを考察し、実際に行動を起こす一歩を踏む姿勢を持つことができる（人間性） 	
下位学習目標	
【知識・技能】	
① 様々な方法を用い、自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題を見つけ出すことができるようになる。	
② 自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題について、フィールドワークを含む様々な手段を用いて知識・理解を深めることができるようになる。	
【思考力・判断力・表現力】	
① 自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題について、他者のそれと比較検討することができるようになる。	
② 自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題についての解決策にむけた具体的なアクションを企画・立案することができる。	
③ 上記を踏まえて、自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題について、効果的にプレゼンテーションができるようになる。	
【学びに向かう力・人間性】	
① 自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題について、具体的なアクションを伴い、他者へ伝えたいという情熱を持つようになる	

授業日	2/15(木)	3 学期授業回数	探究型カリキュラム ピアティーチングの会
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】④ ----- 本時の具体的な目標 ① これまでの学びを、言語化し、それぞれの発表形式に合わせ、資料としてまとめる。 ② 異なる研究をする人たちに対して、自分達が行ってきた活動の内容、理由、目的などを適切に説明する。 ③ 異なる視点で研究をする人たちの発表を聞き、自分たちの研究の参考となる新しい視点を得る。 ④ 積極的に意見交換を行い、凝り固まったアイデアを払拭する。		
時間	5	目標の確認	
授業内容	10-85	アート探究・AI 活用・グローバルスタディ、それぞれのプレゼンと質疑応答	
	90	Wrap up	
評価方法	学びの記録の提出、ルーブリック評価		
宿題指示	学びの記録を完成させる		

授業日	2/20(火)	3 学期授業回数	5 回目 / 全 5 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③ ----- 本時の具体的な目標 ① 各自の探究について振り返り、意見交換を行う ② 各自の探究の次のステップについて確認し、意見交換を行う ③ 先週の「探究ピアティーチング」の他グループからの質問を共有し、それに答える形で意見交換を行う。		
時間	5	目標の確認	
授業内容	10-20	各自のこれまでの探究活動について個人の振り返り	
	20-45	各自のこれまでの探究活動について、全体共有とディスカッション	
	55-65	各自の探究の次のステップについて個人での確認作業	
	65-85	各自の探究の次のステップについて、全体共有とディスカッション	
	90	Wrap up	
評価方法	それぞれの振り返りと確認をロイロノートで提出		
宿題指示	① 最終的な個人プレゼンの撮影・提出 ②Classi 振り返り ③春休みの個人面談		